



# 大 い ち ょ う



令和 8 年 2 月 6 日  
富士市立伝法小学校  
校長 四條 秀樹

新しい年が始まり、1か月が経ちました。令和7年度も終わりに向かい、一日一日が疾風のごとく過ぎ去っていきます。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、12月には「教育に関するアンケート(保護者回答)」にご協力ください、ありがとうございました。前期と比べ子どもたちがどのように変化したか、本データを分析し、来年度に向けての教育活動に生かしていきたいと考えております。集約結果をお配りいたしますので、ご家庭でもご一読ください。お子様と一緒に目を通しながら1年間の成長を振り返り、来年度につながる励ましをしていただけますようお願いいたします。

## 令和7年度 教育に関するアンケート結果(後期)



肯定・・・評価A(そう思う) + 評価B(どちらかと言えばそう思う) 分析 ○: 満足(80%以上肯定)  
否定・・・評価C(あまりそう思わない) + 評価D(そう思わない) ▽: 課題(50%以上が否定)

番号	評価内容 (カッコ内は教職員)	対象	前期肯定割合	後期肯定割合	前後期比較	分析
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	96.8%	97.6%	↑	○
		保護者	97.8%	96.9%	↓	○
		教職員	100.0%	100.0%	→	○
2	子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	78.3%	86.7%	↑	○
		保護者	92.1%	93.3%	↑	○
		教職員	87.5%	91.7%	↑	○
3	子どもたちは、合言葉「やってみます」を意識して学校生活を送っている。(「やってみます」に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	92.5%	90.4%	↓	○
		保護者	87.7%	89.8%	↑	○
		教職員	95.8%	97.2%	↑	○
4	子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域の行事について話をすることがある。	児童	96.6%	96.9%	↑	○
		保護者	79.6%	82.0%	↑	○
		教職員	100.0%	97.2%	↓	○
5	地域の人が、学校のために活動をすることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	75.8%	98.4%	↑	○
		保護者	97.8%	98.3%	↑	○
		教職員	100.0%	94.4%	↓	○
6	子どもたちは、だれにでも進んであいさつができる。	児童	56.8%	86.1%	↑	○
		保護者	84.4%	84.5%	↑	○
		教職員	70.8%	58.3%	↓	
7	子どもたちは、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。	児童	67.8%	92.7%	↑	○
		保護者	92.0%	90.4%	↓	○
		教職員	87.5%	88.9%	↑	○
8	子どもたちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	74.1%	87.9%	↑	○
		保護者	95.6%	95.6%	↓	○
		教職員	91.7%	97.2%	↑	○
9	子どもたちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	91.8%	92.0%	↑	○
		保護者	92.6%	92.3%	↓	○
		教職員	100.0%	94.4%	↓	○
10	子どもたちは、相手のことを考えて行動している。	児童	92.5%	89.6%	↓	○
		保護者	91.3%	92.0%	↑	○
		教職員	91.7%	97.2%	↑	○
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	95.3%	93.7%	↓	○
		保護者	61.9%	64.0%	↑	
		教職員	87.5%	80.6%	↓	○
12	子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	85.4%	84.4%	↓	○
		保護者	94.0%	94.8%	↑	○
		教職員	100.0%	97.2%	↓	○
13	授業が楽しい。(子どもたちは、楽しく行っている。)	児童	95.7%	96.3%	↑	○
		保護者	95.3%	93.1%	↓	○
		教職員	100.0%	100.0%	→	○
14	子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	95.9%	91.6%	↓	○
		保護者	86.1%	84.5%	↓	○
		教職員	95.7%	100.0%	↑	○
15	子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	95.5%	92.2%	↓	○
		保護者	77.0%	78.4%	↑	
		教職員	83.3%	94.3%	↑	○
16	子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	89.2%	80.5%	↓	○
		保護者	86.3%	86.9%	↑	○
		教職員	100.0%	88.6%	↓	○
17	子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	86.9%	86.9%	→	○
		保護者	77.0%	77.4%	↑	
		教職員	82.6%	100.0%	↑	○

	肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)	分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)
18	子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(I C T 機器を活用して授業を行っている。)	児童 89.4% 84.3% ↓ ○ 保護者 70.2% 77.5% ↑ ○ 教職員 100.0% 97.2% ↓ ○
19	子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童 91.1% 89.0% ↓ ○ 保護者 71.2% 73.3% ↑ ○ 教職員 82.6% 80.0% ↓ ○
20	子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができている。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童 77.9% 76.4% ↓ ○ 保護者 85.3% 83.8% ↓ ○ 教職員 91.7% 91.4% ↓ ○
21	子どもたちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しあは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童 83.9% 81.2% ↓ ○ 保護者 73.7% 73.3% ↓ ○ 教職員 87.5% 82.9% ↓ ○
22	子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童 92.8% 89.8% ↓ ○ 保護者 94.0% 95.0% ↑ ○ 教職員 91.7% 91.4% ↓ ○
23	子どもたちは、もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童 95.3% 94.5% ↓ ○ 保護者 85.3% 90.2% ↑ ○ 教職員 91.7% 88.9% ↓ ○

## 集計結果について(考察)



### よいあらわれ

#### ◎地域とのかかわり 設問4・5

本校は、コミュニティ・スクールとして、より一層地域とのかかわりを深めてきました。登下校の見守りや学校の環境整備、様々なボランティアの活動など、多くの方が子どもたちのために活動してくださっています。子どもたちも地域の方の姿を感じているので、設問4や5の地域に関する数値が高くなっていると考えられます。また、今年度は、まちづくり協議会とも連携し、「にじいろベンチプロジェクト」や「やってみます合唱団」、「イルアート」などの活動をしてきました。PTA活動も、子どもたちの成長を支えてくださっています。多くの方が子どもたちの教育に関わることで大きな効果が生まれます。今後も地域や保護者の力を借りながら教育活動を進めていきたいと思います。



#### ◎友達とのかかわり 設問6・7

学校内で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」という声が増えてきました。前期のアンケート結果を踏まえ、子どもたちも「あいさつを増やしたい」と考え、児童会活動や委員会活動などで取り組んできました。設問4では、前期に比べ児童の数値が大きく増え、子どもたちが「あいさつが増えてきた」と実感していることが伺えました。また、設問7の児童の数値も大きく増えており、「ありがとうございます」「ごめんなさい」を言える大切さが広がってきたことを感じます。設問6・7の結果から、子どもたちが相手意識をもつて生活することができるようになってきたことが分かります。来年度に向けて、さらに相手意識が高まり、友達と円滑なコミュニケーションがとれるよう支援していきます。



### 改善したいあらわれ

#### ○「早寝・早起き・朝ごはん」について 設問20

「早寝・早起き・朝ごはん」の項目では、前期に比べ三者ともに数値が低くなっています。学校生活への影響が心配されます。整った生活リズムは、充実した学校生活を支えるエネルギーの源となります。また、睡眠をしっかりととることで、学習の効率が上がったり、穏やかな気持ちで過ごすことができたりと多くの効果があります。ご家庭では、来年度にむけて、お子様と一緒に生活習慣について考えていただけるとありがたいです。また、スマホやゲームの利用が睡眠時間に影響していることも懸念されますので、お子様と一緒に利用の約束を確認していただけるようお願いいたします。

#### ○きまりについて 設問22

設問22の「きまりを守ってけがしないように安全に生活している」の項目では、児童と教職員の数値が前期よりも下がっています。学校では、廊下を走っていて「危ない!」と思う時や友達とふざけていてけがをしそうな場面を見ることがあります。子どもたちが安全に過ごせるように、日々声掛けをしたり、放送で呼び掛けたりしています。生徒指導の話では、毎回「きまりは何のためにあるのでしょうか。」と子どもたちに投げ掛け、きまりを守ることで自分や周りの友達の安全が守れることを伝えています。引き続き、子どもたち自身にも、きまりの大切さや安全な生活について考える機会を作りたいと思います。



### 心掛けていきたいこと

#### ○学習について 設問14・15・16

本校では、子どもたちが日々の学習に楽しく取り組み、しっかりと理解できるように準備したり工夫したりして授業を行っています。しかし、設問14・15の結果から、さらに授業改善が必要なことが分かりました。子どもたちが自分ごととして考えていく課題づくりや学びをつないでいく授業展開を工夫し、子どもたちにとって「楽しい!分かる!」授業を行うよう心掛けていきます。

また、設問16では、自主的な学習への取組について課題があることが分かりました。チャレンジノートへの取組も含め、子どもたちが自主的に学習に取り組める方法も検討していきたいと思います。

※学校評価アンケートの記述欄にも、貴重なご意見をいただきありがとうございました。  
全職員で共有し、今後の教育活動につなげてまいります。